ふれる・もつ・かんじる展

あめのひのまち

開催会期

2024 11/27(水)－12/3(火)

開館時間

11:00－17:00

開催場所

東京学芸大学 西5号館(美術棟)1Fアート・ギャラリー

(東京都小金井市貫井北町4-1-1)

［主催］東京学芸大学 ふれる・もつ・かんじる展実行委員会

［連携機関］国立精神・神経医療研究センター病院療育指導室

東京都立小平特別支援学校　東京都立小平特別支援学校武蔵分教室

東京都立東久留米特別支援学校

［後援］東京都教育委員会　令和6年度 東京学芸大学社会連携支援事業

［協賛］アート・アスレチック教育センター

あめのひのまち

「ふれる・もつ・かんじる」展は東京学芸大学美術科の洋画研究室に所属する学部2年生が中心になり、運営している展覧会で、地域の特別支援学校、院内学級等で学ぶ病気や障がいをもつ子どもたちと学生との交流のなかから、生まれてくる美術表現の発表の場となっています。今年は気分が落ち込みがちな雨の日でも楽しく活動できるように「あめのひのまち」をテーマにワークショップ、展示を行いました。重度の病気や障がいをもつ子どもたちにとってはものに触れること、感触を感じること自体が大きな課題です。「ふれる・もつ・かんじる」展の展示は、子どもたちがその課題に向き合った軌跡です。

ふれる・もつ・かんじる展

「ふれる・もつ・かんじる」展の活動は特別支援と美術の出会いから生まれました。東京学芸大学芸術館における作品展示・交流活動は東京学芸大学洋画研究室を中心に東京都立小平特別支援学校武蔵分教室との連携により2010年から始まり、今年で１４回目の開催となります。今年は東京都立小平特別支援学校武蔵分教室と東京都立東久留米特別支援学校にて学生主催の交流授業を行いました。これからも西東京における特別支援学校との連携、交流活動を通して豊かな美術教育のモデルを地域に向けて提案していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。この活動は2020年「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰において功労者表彰を受賞しました。

東京学芸大学ふれる・もつ・かんじる展実行委員会一同







会期中イベント

まどからみえるふしぎなせかい
~ガラスにえをかこう~

大きな窓ガラスに思いっきり絵を描こう！

11/30(土)
14:00～

学芸大学への行き方

JR武蔵小金井駅北口より【京王バス】5番バス停
「小平団地行」に乗車 約10分　「学芸大学正門」下車
JR国分寺駅より徒歩約20分

連絡先

東京学芸大学　ふれる・もつ・かんじる展実行委員会
美術科花澤研究室
〒184-8501 東京都小金井貫井北町4-1-1
Tel:042-329-7586
E-mail:gakugeiyouken@gmail.com
フライヤーデザイン:岩﨑響子

\洋研のインスタです！/